



千葉労働新聞

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.1.16 No. 3146

1~3月の突破口向く24時間ストへ

- ❖ 東日本・貨物は本州清算事業団の募集を行え
- ❖ 若年退職と強制出向を狙う定年延長を許すな
- ❖ 90.3ダイ改阻止、反合・運転保安の確立へ

全本線可能運転士の24時間スト方針を確認

第四回拡大支部代

動労千葉は一月十五日、第八回執行委員会、第四回拡大支部代表者会議を開催

し、一〜三月闘争の突破口開く一・一八ストの方針、戦術を決定し確認した。

△今が正念場、ストにたとう

今回のストは年明け早々の闘いでありながら重大な意味をもっている。それはなによりも清算事業団職員に対する募集が一月二〇日に締切りがせまる中で、本州清算事業団に対する切りすてを許さず、全員の原職奪還にむけて、今が正念場だということである。一月十一日の東日本本社との団交では、定年延長についても清算事業団についても一切の歩みよる余地のない全面対立で終始した。定年延長については「定年延長の実施は膨大な経費の増加を伴うものであり、これによる経営への圧迫はできるだけ避ける必要があることから、提案どおりの内容としてほしい」と開きなおり、あとは「個人的に生活設計は違う」だの「個人個人の

問題であり、人それぞれ違う」などと言って、企業（資本）の論理をむきだしにして若年退職勧奨をおし進めようとしているのだ。定年延長というなら、まず六十才以上でも充分働ける職場環境と在職条件を整備すべきなのだ。ところが、実際にはダイヤ改正のたびに要員削減と合理化でますます働きづらい職場となつていく。ダイ改阻止、反合・運転保安とともに、定年制の問題も重大な問題として闘いぬこう。

さらに、清算事業団の問題は、団交のなかで「行政指導に従っただけ」だから募集を「本州に拡大することではできない」とぬけぬけと言っている。だが、あらかじめ欠員がありながら、本州の清算事業団に配属す

革マル・永島が職場放棄、それを擁護する当局

ることは、あきらかな組合差別にもとづく不当労働行

為なのだ。すぐにも分割・民営時にさかのぼってでも採用すべきことなのだ。原職奪還へいまこそ全力で闘おう。(詳細は交渉ニュース第五号をみて下さい) 一月十二日の千葉支社との九〇・三ダイ改をめぐる団交でも、今までどおり、木で鼻をくくるがごとき「回答」のみで全面対立に終始している。

しかも、この中で一月九日におきた千葉転の革マル分子永島の職場放棄について団交の場で当局が擁護していることがはつきりした。出発点呼中に当直助役に対して乱暴を働き、職場放棄し帰宅してしまったことを擁護する当局。この中に、J R当局とJ R総連の癒着ぶりをよく見てとることが

できる。こんな連中がわれわれの職場を支配しようというのだ。断じて許さずJ R総連解体に闘いをおし進めよう。

一・一八ストは、このように一〜三月闘争の中でも重大な闘争になっている。組織の団結をより一層うちかためて全力で二四時間ストにたち上ろう。

本部への成田治安法の適用・封鎖に対して、「天神峰はわれらが守る」と反対同盟全員が現闘本部にこもって闘うことを決定している。反対同盟の決意にこたえ、労働連帯を強化して共に闘おう。

反対同盟旗びらき開かれる

三里塚芝山連合空港反対同盟は、一月十四日、天神峰現闘本部で九〇年旗びらきを開催した。動労千葉からは、中野委員長が参加して共に闘いぬく決意を明らかにした。

反対同盟は、天神峰現闘